

レースっていいよね

- 第4回 - 「こんなのあり?」の巻

仕事柄、普段から仲間内でとんでもない話をして盛り上がってます。例えば、新素材の開発について。最近のレーシングカーの流行はやはりカーボン素材。真っ黒いあれです。炭素繊維を編み上げたり、まとめたりした物に樹脂を染み込ませて成型するのです。ちなみにFRPも同じ原理です。そして、これからの新素材について。まず環境に優しくなくてはいけません。次に価格の抑制。カーボン繊維部品は高い。いくらレーシングカーのパーツと言えどもコストを無視して良いわけではありませんからね。そして高強度、高剛性。繊維自身が強く、軽くなくてはいけません。この間、こんな話をしていました。

「カーボンに変わる繊維を発見したヨ!しかも資源は豊富で環境に優しいのだ!!」

「それはすごいですね~!!で、なんですか?」

「これ。……」

「……は?」

「か・み・の・け。」

「切っても切っても生えてくる。材料費タダ!それに人間の髪の毛はまとめあげるとトラックを吊るせるぐらい強いんだよ。」

「あ、なるほど。例えばどんな風に使うんですか?」

「そうね、特に剛性の必要なモノコックにはみずみずしくて、ハリとコシのある10代の髪の毛を使う。ノーズはクラッシュパーツとして衝撃を分散できるようにある程度壊れ易くする必要があるから中高年のゴマシオ繊維と白髪繊維を組み合わせる。」

「……。」

「強度の必要なブラケット類やマウント部品には硬いワ〇毛やチ〇毛を使うといいかもね。」

「プリプレグ(※繊維にあらかじめ樹脂を含ませ生地にしたもの)として使うなら繊維丈が要るから少なくとも1500mm以上の長さが欲しいね。でも、ヘビメタとかの長髪は駄目だね、傷んでるから。チョップ(※繊維を細かく砕いたもの)ならスネ毛とか鼻毛もOKよ」

「はは、……」

「毛FRPの優れた点はまだあるぞ!カラーバリエーションが豊富。ノーマルなブラックから、軽やかに見せるブラウン、オレンジ系、そしてリッチでゴージャスなゴールドまでよりどりみどり!! 観客の目も釘づけです!」

「でも、繊維はともかく樹脂が浸透したら変質するのでは…?」

「はっ!……」

「考えてなかったですね、さては。」

「うーん、一獲千金がまた一歩遠のいてしまったな。」

「一步どころじゃないでしょ!!」

嗚呼、楽しい職場だこと。